

朝日塾小学校学校給食要綱

朝日塾小学校の給食の目的

身体の発育期にある児童に栄養バランスの取れた学校給食を提供することにより、児童の健康の増進、体位の向上を図るものとする。また、学校で皆と一緒に食事をとることにより、学校生活を豊かにするとともに、良い食習慣を身につけさせたり好ましい人間関係を形成させたりするなどの教育的効果も高めるものとする。

朝日塾小学校の給食の目標

1. 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る。
2. 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる。
3. 学校生活を豊かにし、明るい社交性と協同の精神を養う。
4. 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命および自然を尊重する精神を養う。
5. 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養う。
6. 我が国や世界の各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める。
7. 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導く。

朝日塾小学校の給食の指針

1. 食の安全

- (1)添加物や加工品の摂取を極力減らし、できるだけ手作りのメニューを考える。
- (2)衛生管理、食材の安全管理の徹底した、信頼できる業者を選定・委託する。
- (3)地元産や旬の食材をできるだけ使用する。
- (4)野菜は塩素消毒を必要としない調理方法で提供する。

2. 栄養のバランスとおいしさ

- (1)年齢に応じた栄養価の摂取基準を満たし、栄養バランスのとれた献立にする。
- (2)食材の偏りを避け、できるだけ多くの食品を組み合わせた、彩りの良い献立になるように工夫する。

3. 楽しい給食時間

- (1)献立や食材についての情報を提供し、関心を高める。
- (2)食に関心を持ったり、食べる楽しさを味わわせたりするために、郷土料理や国内外の地域食や伝統食などを取り入れる。
- (3)イベント時のセレクトメニューなど給食に対する期待感を持てるようにする。
- (4)交流給食を行ったり、机の配置を変えて食事をしたりすることで、仲間作りを通して社交性を養い楽しい給食時間にする。

4. 食べ物や人への感謝

- (1)食べ物からは命をいただいているのだという理解を深め、食べ物を粗末にせず、残飯を極力減らすよう声かけをする。
- (2)家庭科、総合学習の時間などに自分たちで調理する体験を通して、給食の調理にかかわる人々の勤労を重んずる態度を養う。

朝日塾小学校の給食の指針の留意点

1. 指針を推進するにあたり、教職員・業者・保護者の三者による献立委員会および、教職員による給食委員会を効果的に機能させる。また、必要に応じ、教職員・保護者の意見交換を行う。
2. 給食試食会の開催や、保護者の意見を参考にし、反映させながら、指針が遵守されているかチェック機能を働かせる。
3. 土曜日簡易給食も本要綱の範疇とする。